

●保証協会の企業支援にロカベンを活用

- 名称：岐阜県信用保証協会
- 本店所在地：岐阜市藪田南五丁目14番53号
- 創立：昭和26年2月23日
- 常勤従業員数：90名
- 基本財産：29,501百万円
- 利用企業者数：19,620企業

導入経緯

ロカベンについては、経済産業省が公表した当初から認識はしていたものの、企業が作成し、金融機関やステークホルダーに対して情報開示するツールであるとの捉え方であった。

協会による経営支援は以前より実施していたが、これまでの支援活動においては、体系立てて業務フローや商流を把握するまでには至っておらず、また経営者との情報共有や、協会内での情報蓄積が不十分な状況であった。

2018年4月の保証協会法改正により、協会業務に「経営支援業務」が明記されたことを契機に、顧客との対話における具体的な方法として、ロカベンを採用するに至った。

きっかけ

2018年4月

信用保証協会業務の追加(保証利用企業への経営支援)
組織変更により、企業支援部が発足

内部への
啓蒙

2018年8月

職員向けに
ロカベンの研修を実施



連続2日間
中小企業診断士に講師を依頼

外部への
啓蒙

2018年11月

企業経営者向けにロカベンをテーマとした
シンポジウムを開催



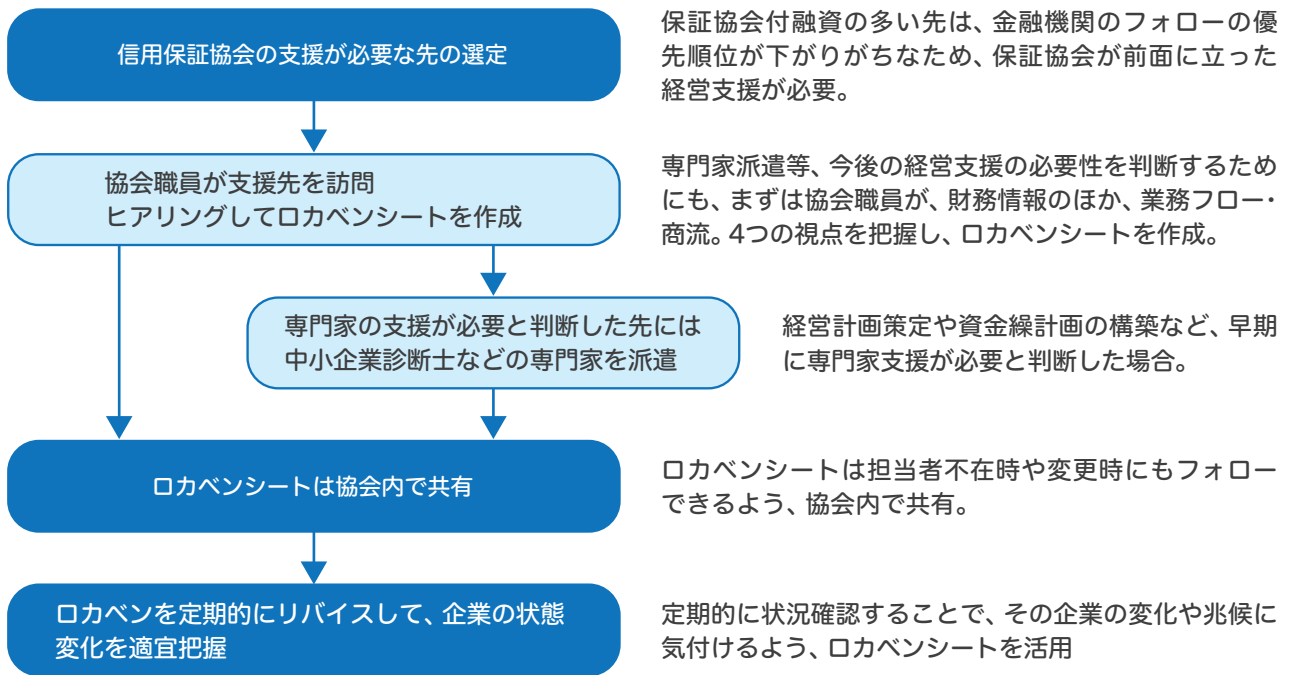
ロカベンに造詣が深い中小企業診断士
(森下勉氏や藤井健太郎氏)が登場

本格活用
スタート

2018年12月

ロカベンを活用した支援事業を本格開始

取り組み体制の構築



活用の効果・課題

ロカベンの活用開始から日は浅いが、既に具体的な問題点を把握して、対策に乗り出している支援先もある。

とあるリスク先企業への訪問にあたり、ロカベンシートの作成を行ったところ、①キャッシュフローは改善しているが滞納社会保険料の支払がネックで資金繰りが厳しいこと、②設備老朽化により近い将来設備投資が必要となること、③早期に息子への事業承継手続を進める必要があること、の3点が課題として共有できた。

これを受けて、協会の専門家派遣事業を利用し、経営改善計画を策定。協会主導で各金融機関と金融調整を行い、社保については金融機関プロパーとの協調融資で清算のうえ、既存の金融機関借入も返済正常化させた。これにより、今後の設備投資について金融支援が受けられる準備を整えた。

また、事業承継の問題については、同じく協会の専門家派遣事業により、「知的資産経営報告書」の策定を、代表者・後継者・従業員と共に行っており、会社の「良いところ」の洗い出しや見える化を行いながら、スムーズな事業承継に繋がりたいと考えている。

支援実施件数	2018年度(2018年12月開始)		2019年度(目標数)	
			4件	

支援機関の声

ロカベンの活用は、企業経営者との対話を実施するよいきっかけ作りとなる。共通のシートで経営者と現状や課題の共有ができ、協会内でも企業状況を共有・蓄積するのに大いに役立っている。金融機関との取引額が多くても、保証付の割合が高い場合は、実質的に保証協会がメイン先の扱いとなり、金融機関の支援やフォローがなかなか行き届かないケースが多い。こうした場合、協会主導での経営支援が必要不可欠であり、ロカベンの仕組みを活かしながら、今後も支援活動をしていきたいと考えている。

企業経営者の中には、現状で問題が無いと感じていて、潜在的なリスクに気付かない場合もあるため、経営者からの相談を待つのではなく、協会側から積極的に企業へアプローチしていく方針である。